

＜対策のポイント＞

経口ワクチンの散布は、野生イノシシを介した豚熱のまん延防止に有効であることから、我が国における効率的かつ効果的な経口ワクチンの散布方法を確立するための取組を行います。

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 経口ワクチンの導入支援

- 全国協議会が行う、経口ワクチンの導入・保管の取組を支援します。

2. 経口ワクチンの効率的かつ効果的な散布実証支援

- 都道府県協議会が行う、経口ワクチンの散布地点の選定（餌付け）・散布・回収の実証に必要な取組を支援します。

3. 経口ワクチン散布の省力化支援

- 都道府県協議会が行う、ドローンやバイトステーション（給餌器）等を活用した散布方法の省力化を図るための取組を支援します。

＜1の事業：経口ワクチンの導入支援＞

- 経口ワクチンの導入・保管を全国協議会で一元的に行い、効率的に実施。

＜2の事業：経口ワクチンの効率的かつ効果的な散布実証支援＞

- 令和3年2月に改正予定の「豚熱経口ワクチンの野外散布実施に係る指針」に対応し、我が国に適した経口ワクチンの散布方法を確立するための実証を実施。

〔従前の散布方法から効率的かつ効果的なものに見直し（方向性）〕

- 若齢個体について、移行抗体消失時期（生後3ヵ月）、経口ワクチンの摂食可能な月齢を踏まえて散布時期を設定
- 経口ワクチンの散布候補地点での餌付け（誘引）について、新たに散布する地域以外の地域での必要性を検討し設定
- 経口ワクチンの回収について、新たな散布地域以外は基本的に回収を省略可能

等

＜3の事業：経口ワクチン散布の省力化支援＞

- 経口ワクチンの散布等の方法を省力化し、有用な手法を横展開。

散布地点の選定の省力化

- 散布地点選定のための山塊での現地調査に代わるドローン等の画像データからの選定を検証

餌付けや散布の省力化

- 餌付けや散布のための山塊への立ち入りをバイトステーション（給餌器）で代替し、省力化を検証

◆ 経口ワクチン

- 輸入先国：ドイツ
- サイズ：4 cm×4 cm×1.5cm
- 構成 外側：トウモロコシ粉、パラフィン、ミルクパウダー、アーモンド、ココナツ油から成る基質
内部：1.6mlの液状ワクチン



写真：©Federal Ministry of Food and Agriculture, Germany

＜対象地域＞

豚熱のワクチン接種推奨地域であって、散布方法の実証を行う地域。

＜事業の流れ＞

